

大学名 金沢大学

第71号 特集テーマ「魅力あふれる大学キャンパスとは」

表題 未来知による社会貢献や新たな産学連携を促進する共創研究センターの設立

特色ある取組 バイオマス・グリーンイノベーションセンター(BGIC/ビージック)は、社会課題の解決と循環型社会の実現を目指して設立された共創研究施設です。共創研究では、「志」を共にする複数の大学や企業がオープンに参画し、業種や専門の壁を越えた自由な交流と、それぞれの特色を活かした異分野融合による価値共創を目指します。



期待できる成果 BGICは、「人の好奇心を形に、地球に自然の色彩を」を理念に掲げ、豊富な森林資源を持つ日本ならではのバイオマス研究の最先端の拠点として、グローバルな人材育成とバイオマスバリューチェーンの実現を加速します。

林業、農業、水産業(一次産業)の産品やその副産物、廃棄物などの各種産業資源を、環境にやさしい次世代化学変換プロセスによってさまざまなバイオマス新素材に変換する技術の共同研究を推進し、その社会実装によって「バイオマスプロダクトツリー構想」を実現します。

建物の概要: 本学と株式会社ダイセルが、共同で整備。2023年4月から本格稼働。民間資金を活用した産学連携施設では国立大学で最大規模(階数:地上7階建、延床面積:約7,700 m²)です。

参考URL: バイオマス・グリーンイノベーションセンターHP <https://bgic.kanazawa-u.ac.jp>



Biomass Green Innovation Center



書画(書家アーティスト 岡西佑奈氏作)



ロゴマークの5色は、金沢の加賀五彩の臙脂・藍・黄土・草・古代紫。日本のあらゆる自然と四季の移ろいを表現する色として加賀友禅で使われた基本色です。ボーダレスに繋がるグラデーションの5つの輪は、自然環境の循環の持続を表し、二重の水引のような意匠は「産と学の融合」また水引が持つ「人と人を結びつける」という意味を表します。そしてそれらを包み込む大きな円は、循環する地球と大気象徴です。